

CDP気候変動2021 回答に向けて（詳細版）

C3 事業戦略

2021ウェビナー
CDP事務局

本ウェビナーについて



- ▼ CDP回答ガイダンス、スコアリング基準、スコアリングイントロダクション等の内容に沿って説明しています。これらの情報は、ウェブサイトに掲載しています。
- ▼ スコアリングの詳細についてもご紹介していますが、スコアリングの基本については、スコアリングイントロダクションの文書やウェビナーをまずご覧ください。
- ▼ 本ウェビナーの内容、CDPウェブサイトに記載している日本語版の内容は、CDP日本事務局が、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。

CDP気候変動質問書および回答ガイダンス2021 ([リンク](#))

CDP気候変動質問書スコアリング基準2021 ([リンク](#))

※右上の「言語/language」ボタンより言語を変更いただけます。

回答の際の注意点



- ▼ スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。
⇒外部URLの参照、資料の添付（一部質問を除く）、他の回答欄を参照しなければならない回答等はスコアリングには反映されません。

NG回答例

- 「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト（<http://www ~~~>）をご覧ください」
- 「詳細は質問〇〇への回答内容を参照のこと」

- ▼ 無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。
 - **Please explain（説明してください）**や**Description（～の説明）**は必ず記入してください。
 - 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のままで、把握していてゼロの場合はゼロと記入してください。
- ▼ 下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります。
- ▼ 回答は提出時の御社の状況ではなく、C0.2の報告年の時点でどうであったかでご記載ください。自社にとって重要な意思決定や取り組み事例について、報告年よりも以前のことであっても、報告年の戦略や方針に関係のあるものであればご記載いただけます。その際、その報告年以前の取組の結果、報告年時点ではどのような状況になっているのかの進捗もご記載いただくことでよりよい情報開示となります。

回答の際の注意点

(文章記述欄：自社固有／ケーススタディ／事例)



▼ 自社固有の (Company-specific) 回答が求められる場合

同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的影響、定量的なデータ、自社の具体的な（いつ、どこで、どれくらいの規模で）取り組み、固有の製品／サービス等について、**自社のみに当てはまる内容**を記述してください。自社固有の説明は、一般論として回答しているのではなく、回答企業が環境関連の問題を自社のビジネスの文脈の中で十分に検討していることや、実際にアクションを起こしていることを示すために有用です。

▼ ケーススタディ (Case study) の記載

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「**Situation-Task-Action-Result (STAR)**」アプローチに沿った記載を含めてください。

- 1) 状況 (**Situation**) : 現状や背景はどのようなものか
- 2) 課題 (**Task**) : 何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
- 3) 行動 (**Action**) : 実施した一連の行動はどのようなものか
- 4) 結果 (**Result**) : 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

ケーススタディの中には、**できるだけ多くの自社に固有の (Company-specific) 情報、具体的な時間(いつ)と場所の情報(どこで)**を含めてください。

▼ 事例 (Example) の記載

上記の**STAR**アプローチに沿った記述は必要ありません。ケーススタディよりも簡潔に記載でき、いくつか自社固有の情報が含まれていれば望ましいと言えます。

セクター別質問書



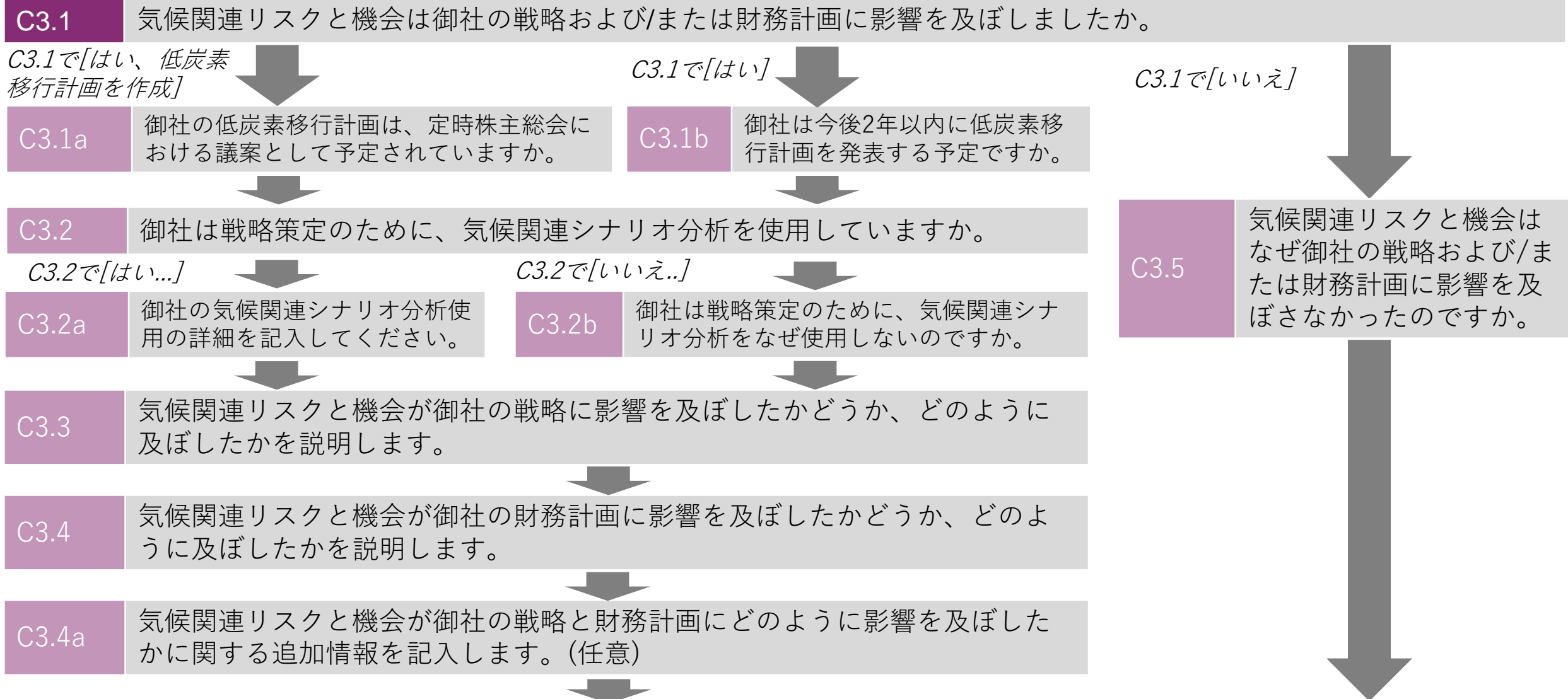
- ▼ 気候変動、水セキュリティ、森林減少といった環境問題の影響が大きいセクターに該当する企業にはセクター別の質問が設定されています。セクター別の質問は、質問番号に各セクターを示すアルファベットが付記されています。
- ▼ セクター別のスコアリング基準が設定されており、セクターの特徴に沿ったスコアリングが実施されます。
- ▼ どのセクター別質問に該当するかは、企業がどのセクター（**CDP**のセクター分類に基づく）に属しているかによって決まります。（該当するセクター別質問は、各プログラム共通です。）
- ▼ セクター別質問に該当しない場合、[一般]セクター質問書に回答いただきます。

農業	エネルギー	金融	素材	輸送
<ul style="list-style-type: none">農産品(AC)食料・飲料・タバコ(FB)製紙・林業(PF)	<ul style="list-style-type: none">石炭(CO)電力(EU)石油・ガス(OG)	<ul style="list-style-type: none">金融サービス(FS)	<ul style="list-style-type: none">セメント(CE)資本財(CG)化学(CH)建設(CN)金属・鉱業(MM)不動産(RE)鉄鋼(ST)	<ul style="list-style-type: none">輸送サービス(TS)輸送機器製造(TO)

注：本ウェビナーではセクター別質問の詳細については割愛しています。

ウェブサイト上の回答ガイダンスやスコアリング基準のページからセクター固有の情報をご確認ください。

C3 事業戦略／Business strategy



C3.1 気候関連リスクと機会は御社の戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか。

- 気候関連リスクや機会が戦略や財務影響に影響を及ぼし、低炭素移行計画を作成した場合
⇒ [Yes, and we have developed a low-carbon transition plan] を選択 ⇒ C3.1aへ
- 気候関連リスクや機会が戦略や財務影響に影響を及ぼし、低炭素移行計画は作成していない場合
⇒ [Yes] を選択 ⇒ C3.1bへ
- 気候関連リスクや機会が戦略や財務影響に影響を及ぼしていない場合
⇒ [No] を選択 ⇒ C3.5へ

Aレベル

低炭素移行計画とは、企業がネットゼロ経済に整合したビジネスモデルに移行していくための計画です。これは、企業が気候関連のリスクに対応し、機会を生かすために、ビジネスモデル（関連する製品や生産方法、成長戦略、設備投資等）を現状から将来あるべき姿にどのように変わっていくかを定義します。低炭素移行計画としては、以下の要素を含んでいることが期待されます。

- (1) パリ協定のゴールと整合するネットゼロ目標にコミットする
- (2) ネットゼロを達成したあとについても、利益を出し続けることを示す
- (3) 長期のゴールの進捗を把握する、中期の定量的目標を設定する

C3.1a 御社の低炭素移行計画は、定時株主総会(AGMs)における議案として予定されていますか。

※C3.1で「Yes, and we have developed a low-carbon transition plan」を選択

Is your low-carbon transition plan a scheduled resolution item at AGMs?	Comment
<ul style="list-style-type: none"> • Yes / はい • No, and we do not intend it to become a scheduled resolution item within the next two years / いいえ、今後2年以内に定期的な議案にする予定はありません • No, but we intend it to become a scheduled resolution item within the next two years / いいえ、ただし今後2年以内に定期的な議案にする予定です • No, we do not hold AGMs / いいえ、株主総会はありません 	<p>Text field [maximum 2,400 characters]</p> <p>Lレベル</p>

企業が低炭素移行計画を株主総会での議案に含めることにより、株主はその進捗についてレビューをすることや提案を挙げることが可能になります。こちらの設問を通じ、企業は移行計画に関する透明性を示すことができ、また投資家やその他のステークホルダーは、企業がネットゼロ経済の中で成功できるビジネスモデルに移行していくためにどれだけコミットしているかを評価することができます。

低炭素移行計画を株主総会での議案をすることを提唱しているイニシアチブであるSay on Climateについては、こちらをご覧ください ([リンク](#))

C3.1b 御社は今後2年以内に低炭素移行計画を発表する予定ですか。

※C3.1で [Yes] を選択

低炭素移行計画の公表予定

株主総会での議案としての
低炭素移行計画

Intention to publish a low-carbon transition plan	Intention to include the transition plan as a scheduled resolution item at Annual General Meetings (AGMs)*	Comment
<ul style="list-style-type: none"> • Yes, in the next two years / はい、今後2年以内に • No, we do not intend to publish a low-carbon transition plan in the next two years / いいえ、今後2年以内に低炭素移行計画を発表する予定はありません 	<ul style="list-style-type: none"> • Yes, we intend to include it as a scheduled AGM resolution item / はい、定時株主総会の議案として含める予定です • No, we do not intend to include it as a scheduled AGM resolution item / いいえ、定時株主総会の議案として含める予定はありません • No, we do not hold AGMs / いいえ、株主総会はありません 	<p>Text field [maximum 2,400 characters]</p> <p>Lレベル</p> <p>※2列目は1列目が「はい」の場合に表示されます。</p>

C3.2 御社は戦略策定のために、気候関連シナリオ分析を使用していますか。

※C3.1で[Yes, and we have developed a low-carbon transition plan]または[Yes]を選択

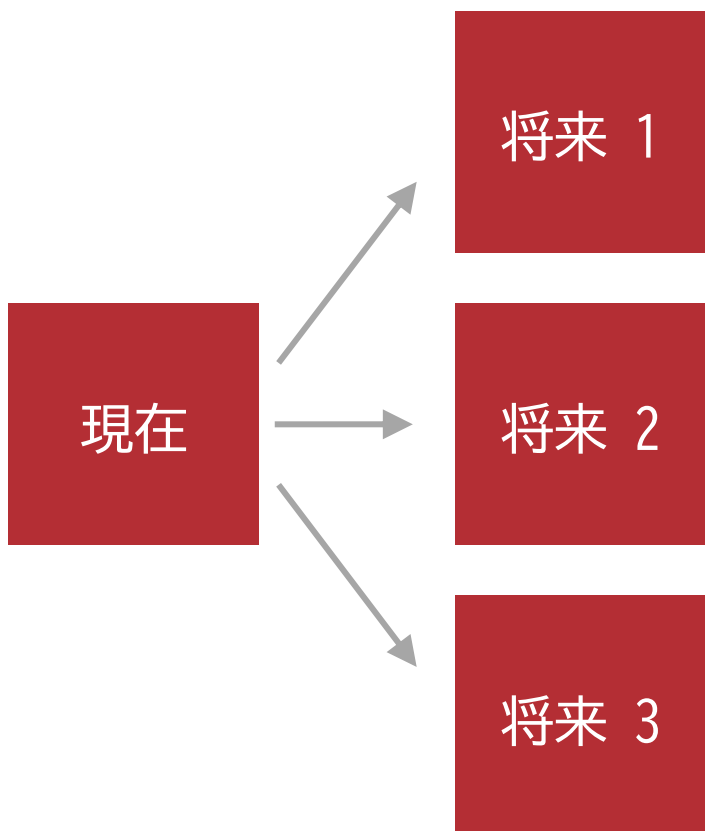
- はい、定性的に
- はい、定量的に
- はい、定性的および定量的に
- はい、定性的に。しかし今後2年以内に定量分析を追加する予定である
- いいえ、しかし今後2年以内に定性および/または定量分析を使用する見込みである
- いいえ。今後2年以内にそうすることは見込んでいない

Aレベル

⇒ C3.2aへ

⇒ C3.2bへ

シナリオ分析



▼ シナリオ分析とは？

- ▼ 起こりえる幅のある（複数）将来を想像し、それぞれの将来において、自社がどう影響を受けるのか探索するもの
- ▼ 好ましいあるべき将来を描くためのものではありません。
⇒ 将来的な排出量削減の目標設定はシナリオ分析ではありません。
- ▼ 最も可能性の高い将来を特定するもの（予測）ではありません。

▼ シナリオ分析の目的

- ▼ あらゆる可能性を想定することで、事前に対策を打つべき対応を把握し、不確実な将来にも備えることができる ⇒ レジリエントなビジネスへ

【シナリオ分析に関する参考資料】

- ▼ TCFD 「The Use of Scenario Analysis in Disclosure of Climate-Related Risks and Opportunities」 ([リンク](#))
- ▼ TCFD 「Guidance on Scenario Analysis for Non-Financial Companies」 ([リンク](#))
- ▼ 環境省 「TCFDを活用した経営戦略立案のススメ」 ([リンク](#))

シナリオ分析のプロセス

1

ガバナンスの整備：戦略施策やリスク管理プロセスにシナリオ分析を組み込む。関連する取締役会等による監督を実施。どのステークホルダーをどのように巻き込んでいくのかを明確にする。

2

気候関連リスクの評価

市場と技術
の変化

評判

政策と法律

物理的
リスク

現在及び今後想定される、組織が直面する気候変動リスクと機会は何か。それらは将来に重要となる可能性があるか。組織のステークホルダーは関心を抱いているか。

3

シナリオの幅を定義

シナリオは、組織にとって重要な、移行リスクと物理的リスクの幅をとらえたものに

どのようなシナリオ（と物語）が適切なのか。入力パラメーターと仮定、分析手法を検討する。どのシナリオを参照すべきか。

4

事業への影響を評価

以下の要素への影響

- 投入コスト
- 操業コスト
- 収益
- サプライチェーン
- 営業停止
- タイミング

それぞれのシナリオにおいて組織の戦略的・財務的ポジションに対して与える影響を評価する。特に影響を受けやすい箇所を特定する。

5

対応策の特定

想定される対応策

- ビジネスモデルの変革
- ポートフォリオの変革
- 人的能力や技術への投資

シナリオ分析により特定されたリスクと機会を管理するための、適切で現実的な選択肢を検討する。どのような戦略的・財務的な計画の修正が必要になるか。

6

文書化と情報開示：プロセスを文書化する。関連組織とコミュニケーションをとる。主要な入力変数、仮定、分析手法、結果、とりうる経営上の選択肢について、情報を開示する準備を整える。

シナリオ分析

- シナリオ分析とは、将来に起こりうるシナリオをいくつか設定し、そこにおける自社にとって重要な事業リスクや機会、その影響を理解して、事業戦略や財務計画に反映させること。
- シナリオを策定する際には、その背景・裏付けとなるシナリオを活用するが、不確実性を伴う遠い将来の影響を考慮するためには、自社が置かれている状況や事業の特性をよく考慮したシナリオを選択しなければならない。

【シナリオ分析プロセスの例】

TCFD提言にあげられているシナリオを分析。自社に関係しそうなパラメータを、不確実性と重要度からいくつか抽出。（担当部署）

経営企画を含めた全社の代表または有志で、1～2日、または複数回に分けたシナリオ分析会合を招集。御社にとってもっとも重要で不確実なパラメータを分岐させた、複数のシナリオを構築する。

上記から得たシナリオ、つまりストーリーをベースに、数值的、事実関係などから、確認や修正を行う。再度プロセス2のメンバーを招集し、定量的確認結果を議論する。

御社の事業戦略への反映方法を決定する。

C3.2a 御社の気候関連シナリオ分析使用の詳細を記入してください。

※C3.2で[Yes...]を選択

Climate-related scenarios and models applied	Details
<p>Select all that apply:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2DS • IEA 450 • Greenpeace • DDPP • IRENA • RCP 2.6 • RCP 4.5 • RCP 6 • RCP 8.5 • IEA B2DS • IEA Sustainable development scenario • IEA NPS • IEA CPS • BNEF NEO • REMIND • MESSAGE-GLOBIOM • Nationally determined contributions (NDCs) • Other, please specify <p>[Add Row]</p>	<p>Text field [maximum 4,000 characters]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択したシナリオをどのように特定したか (使用した入力データ、仮定、分析方法) • シナリオ分析で対象とした時間軸の説明と、それらが御社にとって関連性がある理由 • シナリオ分析で対象とした御社の事業範囲の説明 (Aレベル) <ul style="list-style-type: none"> • 実施したシナリオ分析の結果の概要について 自社固有の説明 • シナリオ分析の結果が、御社の事業目的および戦略にどのように役立ったか • シナリオ分析の結果が、御社の事業目的および戦略にどのように直接的に影響を及ぼしたかを示す ケーススタディ <p>(Mレベル)</p>

複数の回答がある場合は[Add row]をクリックして回答行を増やしてください。

複数行回答した場合、最も高得点となる行が採点されます。

C3.2a 御社の気候関連シナリオ分析使用の詳細を記入してください。

※C3.2で[Yes...]を選択

Climate-related scenarios and models applied	Details
<p>Select all that apply:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2DS • IEA 450 • RCP 8.5 • RCP 6.0 • RCP 4.5 • RCP 2.6 • Other (specify) <p>こちらの欄では以下を意識してご回答ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シナリオ分析を実施した結果、具体的/定量的に自社の事業へ将来的にどういった影響（リスクや機会）があることが分かったのか • シナリオ分析により得られた気づき（将来起こりえる事業への影響）を受けて、それをどのように事業戦略に反映させたのか、そしてそれに向けて具体的にどういった取り組みを始めており、どういった成果に繋がられているのか（または見込んでいるのか）等 <p>[Add row]</p>	<p>Text field [maximum 4,000 characters]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択したシナリオをどのように特定したか（使用した入力データ、仮定、分析方法） • シナリオ分析で対象とした時間軸の説明と、それらが御社にとって関連性がある理由 • シナリオ分析で対象とした御社の事業範囲の説明 (Aレベル) <ul style="list-style-type: none"> • 実施したシナリオ分析の結果の概要について自社固有の説明 • シナリオ分析の結果が、御社の事業目的および戦略にどのように役立ったか • シナリオ分析の結果が、御社の事業目的および戦略にどのように直接的に影響を及ぼしたかを示すケーススタディ <p>(Mレベル)</p>

複数の回答がある場合は[Add row]をクリックして回答行を増やしてください。

複数行回答した場合、最も高得点となる行が採点されます。

C3.2b 御社は戦略策定のために、気候関連シナリオ分析をなぜ使用しないのですか。

※C3.2で[No...]を選択

C3.2で

[いいえ。今後2年以内にそうすることは見込んでいない]を選択

- 気候関連シナリオ分析を御社の事業戦略に活用していない明確な理由（Aレベル）
- 2年後以降の気候関連シナリオ分析実施の計画の有無について説明（Mレベル）

C3.2で

[いいえ。ただし、今後2年以内にそうすることを見込んでいる]を選択

- 気候関連シナリオ分析を御社の事業戦略にまだ活用していない明確な理由
- どのように2年以内に開始予定か（Aレベル）
- 2年以内に導入する計画の説明（Mレベル）



C3.3 気候関連リスクと機会が御社の戦略に影響を及ぼしたかどうか、どのように及ぼしたかを説明します。

※C3.1で[Yes] / [Yes, and we have developed a low-carbon transition plan]を選択

Business area	Have climate-related risks and opportunities influenced your strategy in this area?	Description of influence
Products and services	Select from: <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No • Evaluation in progress • Not evaluated </div> <div style="margin-left: 10px;"> Aレベル Mレベル </div>	Text field [maximum 2,400 characters] 影響を及ぼしたかどうかで選択した内容について明確な根拠を記述（Aレベル）
Supply chain and/or value chain		
Investment in R&D		
Operations		

【影響の説明】（Mレベル）

影響を及ぼした[Yes]

- 気候変動関連のリスク/機会に対して、それをどのように御社の戦略の中に反映させたのか。将来の時間軸のある戦略的な決定の説明（例：2050年までに再エネ100%をする）。
- 当該分野での気候関連リスクと機会の影響を受けた今までで最も重大な戦略決定のケーススタディ

影響を及ぼしているが評価中[Evaluation in progress]

- 自社固有の評価プロセス、および、完了予定時期の説明

影響を及ぼしていない[No]

- 当該分野での御社の戦略に気候関連リスクと機会が影響を及ぼさなかった理由の説明

※ 2列目への回答によって、3列目で求められる記載内容が変わります。

C3.4 気候関連リスクと機会が御社の財務計画に影響を及ぼしたかどうか、どのように及ぼしたかを説明します。

※C3.1で[Yes] / [Yes, and we have developed a low-carbon transition plan]を選択

Financial planning elements that have been influenced	Description of influence
<p>Select all that apply:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Revenues • Direct costs • Indirect costs • Capital expenditures • Capital allocation • Acquisitions and divestments • Access to capital • Assets • Liabilities • Provisions or general reserves [Financial services only] • Claims reserves [Financial services only] • None of the above 	<p>Text field [maximum 7,000 characters]</p> <div> <p>[None of the above]以外を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • 御社の財務計画について選択した<u>少なくとも1つの要素</u>について、気候関連リスクと機会が、どのように影響を及ぼしたかの<u>ケーススタディ</u> • 選択した要素の財務計画が対象としている<u>将来の時間軸</u> <p>[None of the above]を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • 影響を受けた財務計画の別の要素があるか、あるいは気候関連リスクと機会が御社の財務計画にまだ影響を及ぼしていない理由を説明 <p>(Mレベル)</p> </div>

財務計画 (Financial Planning)

C3.3に記載したような、企業が掲げている目標や戦略（将来のなりたい姿）に向けて、それにどのように資金を当てて、達成していくのかを検討したもの。財務計画を立てることで、将来の財務状況を評価したり、資源をどのように活用できるのかを判断することができる。

C3.5 気候関連リスクと機会はなぜ御社の戦略および/または財務計画に影響を及ぼさなかったのですか。

※C3.1で[No] を選択

- 気候関連問題が御社の事業戦略および/または財務計画に影響を及ぼさなかったの**自社固有**の事例
- 気候関連問題が将来的に御社の事業戦略および/または財務計画に影響を及ぼすことが予想されるかの説明

(Mレベル)

C3 スコアリング基準 (1/6)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
3.1	いずれかの選択肢 を選択している		1	[No]以外を選択 - 1点		1		0	0		0	0
3.1a ※3.1で Yes, and we have develop ed ...	いずれかの選択肢 を選択している		1		0	0		0	0	[いいえ、今後2年以内に定期的な議案にする予定はありません。]以外を選択 - 1点		1
3.1b ※3.1で Yes	いずれかの選択肢 を選択している		1		0	0		0	0	[いいえ、今後2年以内に低炭素移行計画を発表する予定はありません]及び[いいえ、定時株主総会の議案として含める予定はありません]以外を選択 - 1点		1

C3 スコアリング基準 (2/6)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
3.2 ※3.1で No以外	いずれかの選択肢 を選択している		1	[いいえ。今後2年以内 にそうすることは見込 んでいない]以外を選択 - 1点		1		0	0		0	0
3.2a ※3.2で Yes...	回答を記述 - 1点		1	i) 選択したシナリオを どのように特定したか (使用した入力データ、 仮定、分析方法) - 1点 ii) 検討した時間軸の説 明と、それらが御社に とって関連性がある理 由 - 1点 iii) シナリオ分析で検討 された御社の分野の説 明 - 1点		3	i) 実施したシナリオ分析の結果の概 要についての自社固有の説明 - 1点 ii) シナリオ分析の結果が、御社の事 業目的および戦略にどのように役 立ったかの説明 - 1点 iii) シナリオ分析の結果が、御社の 事業目的および戦略にどのように直 接的に影響を及ぼしたかを示すケー ススタディ - 1点		3	マネジメントス コアが満点 - 1 点		1

C3 スコアリング基準 (3/6)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
3.2b ※3.2で No...	回答を記述 - 1点		1	<p>[2年以内に導入予定なし]の場合、気候関連シナリオ分析を御社の事業戦略に活用していない理由-2点</p> <p>[2年以内に導入予定]の場合、気候関連シナリオ分析を御社の事業戦略にまだ活用していない理由、どのように2年以内に開始予定か-2点</p>		2	<p><u>認識スコアが満点</u></p> <p>i) 気候関連のシナリオ分析を事業戦略に活用していない理由- 1点</p> <p>ii)[2年以内に導入予定なし]の場合、2年後以降の気候関連シナリオ分析実施の計画の有無について説明 - 1点</p> <p>[2年以内に導入]の場合、2年以内に導入する計画の説明- 1点</p>		3	C3.1aで[No...]を選択	0	1

C3 スコアリング基準 (4/6)

	情報開示 (Dレベル)		得点	配点	認識 (Aレベル)		得点	配点	マネジメント (Mレベル)		得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)		得点	配点
3.3 ※3.1で No以外	[影響を及ぼしたか]欄でいずれかの選択肢を選択 – 各行0.5点 [影響の説明]に記述 – 各行0.5点			4	[はい]、[評価中]、[いいえ]を選択した行について、明確な根拠を記述 – 各行1点 [評価していない]を選択した行 – 各行0点			4	(A) [はい]を選択した行について、 i)当該分野での御社の戦略が気候関連リスクと機会の影響をどのように受けたかの説明、かつ、対象となる時間軸 – 0.5点 ii)当該分野での気候関連リスクと機会の影響を受けた今までで最も重大な戦略決定のケーススタディ – 0.5点 (B) [評価中]を選択した行について、 i)自社固有の評価プロセスの説明、および、完了予定時期 – 1点 (C) [いいえ]を選択した行について、 i)当該分野での御社の戦略に気候関連リスクと機会が影響を及ぼさなかった理由の説明 – 1点			4	全行でマネジメントスコアが満点 – 1点			1

C3 スコアリング基準 (5/6)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
3.4 ※3.1で No以外	[財務計画の 要素]欄でい ずれかの選 択肢を選択 - 1点 [影響の説明] に記述- 1点		2		0	0	<u>情報開示スコアが満点</u> A) [上記の要素以外] 以外を選択した場合、 i) 御社の財務計画について選択した少なくとも1つの要素について、気候関連リスクと機会が、どのように影響を及ぼしたかのケーススタディ - 2点 ii) i) の得点が付与された上で、選択した要素の財務計画の対象となった時間軸 - 1点 B) [上記の要素以外] を選択した場合、 i) 影響を受けた財務計画の別の要素があるか、あるいは気候関連リスクと機会が御社の財務計画にまだ影響を及ぼしていない理由を説明 - 1点		3	マネジメントスコアが満点 - 1点		1
3.4a ※3.1で No以外		0	0		0	0		0	0		0	0



C3 スコアリング基準 (6/6)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
3.5 ※3.1で No	回答を記述- 1点		1		0	0	i) 気候関連問題が御社の事業戦略および/または財務計画に影響を及ぼさなかった、自社固有の理由 - 1点 ii) 気候関連問題が将来的に御社の事業戦略および/または財務計画に影響を及ぼすことが予想されるケース - 1点 注) 本質問で付与される最大の得点は4点満点中2点です。		4	C3.1で[No]を選択	0	1



C3 セクター別質問に関する注意

対象セクター	質問	質問内容・スコアリング
FS	C3.6, C3.6a~c C3.7, C3.7a, b	<ul style="list-style-type: none">• セクター固有の質問です。• スコアリング対象の質問です



CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



一般的なお問合せ : japan@cdp.net

サプライチェーンに関するお問合せ : supplychain.japan@cdp.net

レポーターサービスに関するお問合せ : reporterservices.japan@cdp.net